

過去の「活動報告」を参考に内容例をまとめました。一例ですが、執筆の参考になれば幸いです。その行事に参加したくなるような楽しい投稿をお待ちしております。

1. 行事のエピソード

「楽しかったこと」「面白かったこと」「失敗したこと」など、その行事のエピソードを、ご披露ください。エピソードの紹介では、参加者やご自身の感想を記していただけると、読者の興味が高まると思います。

2. 行事の自慢

行事を続けていると、受賞した、〇〇回目を達成した、出来映えがよかった、参加者が多かった、参加者の評判が良かったなど、などがあると思います。大いに自慢をお願いします。

自慢することが気になる場合、参加者の話を「」でくくった文章にしたり、第三者の言葉として挿入したりすると、自然に表現できます。

3. 地味に継続している行事では……

蕎麦打ちや農園、スポーツなど、毎回同じことを繰り返す行事では、記事としての表現が難しいことがあります。このような場合、特定のことに焦点を当てると、上手く表現できることがあります。

例えば、地味な農園の土起こしも、収穫への期待や一連の作業の紹介、作業を担当した人の感想、収穫物を料理したレポートなどを交えると面白い記事になるかもしれません。

さらに、長年、継続している行事では歴史が記事としての価値を持っています。過去の面白かったエピソードなどをご紹介します。

4. 写真で語る

活動紹介では、楽しそうな表情がわかる写真があると「楽しい雰囲気」が伝わってきます。これまでは集合写真が多いようです。集合写真だけでなく、3人から4人が笑顔で楽しそうに参加している写真を添えていただけると分かりやすい報告になります。写真が2枚になっても問題ありません。

5. （ご参考）記録としての情報

行事の記録として、記事と共に、開催日時、スケジュールや行程、作業実績、参加人数などを記したいことがあります。こうした情報は、本文とは分けて、表形式や箇条書きで記すと読みやすくなります。

（運営委員 じゃおニュース編集担当 多摩・田園 竹内 純一）

2023年12月1日